



3・14国労西日本総行動

低額回答に怒りを込めて抗議する

退職者を止める為の場当たりの回答だ

3月14日、国労西日本エリア本部は、「24年春闘勝利、安全・安心の鉄道と社会をつくろう3・14国労西日本総行動」を開催した。200名の組合員が結集し、地本から10名参加した。



のみどりの窓口廃止反対・ローカル線廃止反対と合わせて、津山・新見地区に街宣行動を行っている。

ベースアップは、退職者を止める為の場当たりの回答である。春闘は労働者が闘って勝ち取るものだ。」と決意表明を行った。そして、15時30分より開

14時から、国労大阪会館に行った総決起集会では、植田西日本委員長のあいさつ、岩元本部書記長が情勢報告を行い、各地方の決意表明で小林地本委員長が「地域の仲間と共に24春闘宣伝行動・総決起集会を取り組んでいる。そして、中国メンテックに対しての申入れを行っている。」地本独自行動として、駅



催されたJR西日本本社・

物価高騰から生活を守るため大幅賃上げを 県労会議春闘決起集会を開催



岡山県労働組合会議は3月2日、岡山市内において「春闘決起集会」を開催した。開会あいさつで西崎議長は「全医労がストライキを構えて闘い、一定程度の回答を受けスト回避したが、こうして闘うことが賃上げ要求を前進させていく上で必要である」と挨拶した。

基調報告を生協労連の柳委員長が行い「年収200万円未満の労働者が104

1万8千人であり、そのうち女性が73%を占めていることや配偶者控除の103万円の壁について触れ、24春闘では3万円以上の賃上げが必要である」と訴えた。

各組合からの発言として、福祉保育労、医労連、高教組、生協労組から労組の闘いについて報告された。

4人から6人のグループに分かれて、自己紹介や自分の組合で頑張っていることを話し合いながら交流した。

グループ発表として国労岡山地方本部の小林委員長は「国労は17000円の要求を全国統一要求として掲げ、24春闘を闘っている。合わせて駅の窓口閉鎖反対やローカル線廃止反対を春闘で訴えていく」と報告した。

集会終了後に岡山駅頭において、参加者による宣伝行動を行い、24春闘で大幅賃上げを勝ち取ろう！と通行人に訴えた。

貨物関西支店前では、植田西日本委員長・岩元本部書記長のあいさつ、伊野賃金対策部長の交渉報告、荻田関西貨物協議会副議長、山本近畿地本委員長の決意表明を行い、最後に谷澤女性部長のシュプレヒコールと団結頑張ろうで集会を終了した。

4. 25福知山線列車 脱線事故を問い 公共交通を守る街宣行動

日時 2024年4月25日 (木)
時間 10時地本集合
場所 岡山駅・福山駅